

委員会レポート

経済建設

一般会計補正

Q 総合交流ターミナル施設改修工事91万2000円が全額削除され、備品購入費として同額が追加されている件で確認したい。

A 当初、冷蔵庫と給湯器は修繕工事とらえていたが、備品購入費にすることが適当であると判断し変更した。30万円以上の備品は、町負担として指定管理者と協定を締結している。



冷蔵庫

Q 鳥獣害防止対策費補助金30万円はイノシシよけの電気牧柵設置の補助金で1/2を補助している。この補助で何台

設置できるのか？ 又、被害は何月頃までであるのか。

A 8台程度設置できる。又、マルチを張ったら11月頃まで被害がある。



電気牧柵
(ソーラー発電器)

Q 緊急雇用は6ヶ月と聞いているが、今も就業中か。また継続して働くことはできるのか。

A 基本的には6ヶ月未満の雇用となっているが、特殊な事情においては継続することもできる。

Q 107名の就職相談者があったというが、相談に対して目に見える

成果はあったか。

A 7月以降38名の求職があり、11社の求人があった。求職者のうち6名が就業している。

Q 護岸雑草処理業務委託金で、一級河川白

川の国交省と県の補助負担はどうなっているか。

A 白川の管理は、熊本側の小碓橋から下流側が国交省で、上流側は熊本県である。



護岸雑草処理 中島

Q 門出中学通線とは、駅前楽善線を駅南の国道57号線につなげるた

A 駅周辺全体で見直しをしている。

め設計された道路である。その門出中学通線の用地費686万円を駅前楽善線の建物5件分の調査委託費へ振り替え変更することになっている。用地の購入はどうなったのか。

A 地権者がJRと個人2名で、JRとは現在協議中でありすぐに購入できそうにない。

Q 門出中学通線の計画を取りやめたのか。

A 当初どおり計画している。ただルートを少し変更するかも知れない。

Q 門出中学通線は町道認定をしている。必要であるので認定しているの、見直すのであれば説明が必要ではないか。



中学通踏切付近

Q 建物鑑定委託費が計上してある。屋根の一部がかかるとか、家全体がかかるとかいろいろ形態があると思うが、道路用地以外の残地も買収するのか。

A 補助事業なので用地にかかる部分のみを買収する予定である。ただ残地が生じ、全体の3分の1以下のときは申し出があった場合に限り、国、県の指導により購入を検討する。

平成20年度 決算審査

経済建設

① 町立公園等管理委託事業

3460万円

利用者が気持ちよく公園を利用できるよう、剪定や清掃管理を行った。38箇所の公園管理を清掃委託4社、公園管理を7社に委託。昭和園で約700万円となっている。



公園管理委託（昭和園）

② 国際交流事業（ブラジル）

563万円

ホームステイ体験や研修生の受入れを通じてブラジルの言語、文化、歴史等日本からの移民者が

多いブラジルとの橋渡しを行い、親睦を深めた。サレゾポリス市とブラバッタ市より5人を研修生として受け入れ、交流を深めた。

③ まちづくり交流センター整備事業

5190万円

町の顔として地域の活性化に向けた環境づくりを推進するため、中央バス停の整備、20年度は用地買収建物補償等。今後建物についてはコンパクトな建物でよくはないかとの意見があった。



中央バス停（まちづくり交付金事業）

④ 町道引水東線道路改良事業

2395万円

18年からの改良事業で、20年度で全て完了整備された。

拡幅改良を行い通行の安全確保と運動公園へのアクセス道路として利便性の向上を図った。



町道引水東線

⑤ 錦野地区農業集落排水事業

2億9750万円

農業用排水路の水質改善を図り、暮しやすい

農村生活環境を整備した。管路施工1749mを行い全体事業計画100%を達成した。



錦野農業集落排水浄化センター

⑥ 農業用施設資源保全事業

1475万円

少子高齢化、混住化等の進展に伴う集落機能の低下により、農業用資源の適切な維持、保全が困難になってきている。そのような中で、農業用資源が本来有する自然循環機能を維持、増進するこ

とへの国民の期待が増大している。このため資源維持、保全を図る地域ぐるみの活動を支援した。



用水路清掃（町区）

委員会レポート

文教厚生

健康福祉課

Q 歳出の予防費（新型インフルエンザ）4

965万円について、外来診療費は一人当たりいくらになるのか。

A 単価的には、1〜6歳までが3420円、

再診が1060円。診療費の6歳以上について2700円、再診が710円、患者数は、7696名を予定している。

Q 女性特有のがん検診委託について30%で予算化されているが、1

一般会計補正

00%を目指すのが本当ではないか。

A 国からの見込みは40%で通知が来ている。

20年度の受診者は、子宮がんの検診が1244名、乳がんの検診が1454名とかなり低くなっている。大津町の現況としては30%を見込んでいます。

生涯学習課

Q 生涯学習センターの周辺の駐車場の無断

駐車が多数だがどの様な管理をしているのか。

A 踏み切り北側の駐車場については、車止め等の設置を検討している。

墓周辺の放置自動車等、長期の無断駐車については、使用者に移動するよう交渉している。

子育て支援課

Q 大津町子育て・健診センターの使用料を徴収するのは、いかなる時か。

A 企業や団体が子育て支援事業と違う会議や集会を行う目的で使用する場合、料金を徴収する。

Q 創生事業でクリスマスイベントをするのか？

A 『子育て・健診センター』開所の

イベント』である。

Q 障害児保育事業について、国や県の助成金はないのか。

A 19年度までは補助制度があったが、20年度からは交付税に参入された事により、全て町の一般財源で事業を支援している。

Q 保育園への入園を待機されている人は、どの様になっているのか。

A 育児休暇をとられたり、一時保育や子育てサポートの預かり保育を利用してもらっている。

Q 地域子育て支援拠点事業の「センター型」と「ひろば型」の違いは。

A 「センター型」とは地域に出向いて支援活動を行う事業で、「ひろば型」とは常設の場所を拠点として週3日以上

の事業を行うものであり、双方とも親子の交流の場の提供や、相談事業については共通に行う事になっている。

学校教育課

Q 大津小学校プレハブ校舎借り上げ料の金額の根拠は？ 他のやり方を検討することはできないか。

A 大津小学校分離校開設まで教室数が不足する為の仮設校舎なのでプレハブによる借り上げとして検討している。発注方法については、地場企業にも聞いて検討してみたい。

学校給食センター

Q 給食費だけでなく、一般会計を合わせる

と一食の単価はいくらになるのか。

A 決算額（1億3976万円）÷人数（3650人）＝単価（205円）

	経費 円	食材費 円	合計 円
幼稚園	205	229	434
小学校	205	231	436
中学校	205	260	465

現地調査

護国小学校
児童保育施設



大津町子育て・健診センター



平成20年度 決算審査 文教厚生

国のまちづくり交付金事業を活用

(生涯学習施設整備)

1億602

万円

文化ホールの客席、駐車場、建物外装、音響等設備の改修を行った。又、大津地区公民館分館の実施設計も行った。19年度から22年度まで、利用者や住民の意見を聞きながら、施設等改修及び建設を進めている。

学校給食施設整備事業

1913

万円

スチームコンベクションの導入により作業効率が良い、作業人員の減につながった。焼き物と蒸し物が同時に出来るようになった。

スクールバス購入事業

1367万円

古くなったスクールバスを買いかえた。

学習・特別支援指導員雇用事業

2977万円

学習支援指導員(教員資格者)を小中学校8校に13名を配置した。特別支援教室設置校及び特別支援の必要がある該当校に7名の特別支援補助員を配置した。

重度心身障害者医療費助成事業

4624万円

重度心身障害者を対象に医療費の助成を行う。対象約650名。

生きがい対応型

デイサービス事業

1535万円

一人暮らしの高齢者等に対し、通所の方法により日常動作訓練や入浴・給食サービスを行い生きがい活動に参加する機会を提供する。

保育所施設整備事業

1億6880万円

町内の私立保育所が実施する施設整備(新設又は増改築)に対しての補助金。(緑ヶ丘保育園・大津いちご保育園)

小学校施設管理事業

5837万円

学校環境に適した学校施設の管理や修繕、耐震性のない施設の耐震補強を行った。



給食センター整備
スチームコンベクションオープン

委員会レポート

総務

一般会計補正

Q 入札について、地元と町外業者の割合はどれくらいか。町内発注の落札率についても努力



地域公共交通会議

していたかどうかや地元の雇用の面でも大切と思うので、町内の業者のみなさんに頑張っていたかどうかよう指導をしていたきたい。

A 地元と町外業者の割合は出していないが、20年度は229件の入札を行っており土木関係など地元でできるものは地元業者へ入札参加していただいている。町内で調達が困難な機械設備等の大きな入札については町外業者に依頼している。町内業者についても今後更に頑張っていたきたい。

Q 昨今の不況の影響で、町税の収納状況はどううか。昨年との比較はどううか。滞納している人には差押えとかもあるが、本当に払えない人には血の通った対応をお願いしたい。

A 町民税、固定資産税の収納率については、昨年よりも若干よいが、国民健康保険税については、リストラ等で国民健康保険の加入者が増えており、昨年と比べて収納率は下がっている。早めの納付相談等を行っている。

Q 住民が利用しやすい公共交通を整備すべきではないか。

A 昨年度地域公共交通会議を立ち上げ、今年度中の「公共交通計画」の策定に向けて調査を進めている。その中で交通弱者と言われる高齢者や運転免許をお持ちでない方の交通手段の確保やバス路線のあり方についても検討することになっている。また、9月の中旬には町内路線バスの利用者へのアンケート調査なども行っている。



乗り合いタクシー利用の様子

公有財産の

使用を議決

水源かん養のために

熊本市が広葉樹造林

熊本市の地下水を将来にわたり保全するためには、上流域での森林づくりを進めていくことが必要である。そこで大津町所有原野40ha、他に南阿蘇村所有原野30ha、西原村所有原野30haに広葉樹の造林を5ヶ年計画で行う。

この議決を受けて、町は熊本市と「水源かん養林」森林整備協定の締結と契約期間100年の分収造林契約を締結する。また、造林地は上下流住民の交流や森林ボランティアの育成、森林環境教育の場としても活用する。



植樹の様子

平成20年度 決算審査 総務

防犯灯設置及び管理事業

1336万円

夜間の犯罪を未然に防止し、町民の安全の向上を図るために防犯灯の設置及び維持管理を行った。
地域の要望の増加とともに、電気料金等の維持管理も年々増加している。



消防施設整備事業

2398万円

消火栓4基、防火水槽2基新設。小型動力ポンプ5台更新。
今後とも地域防災計画に沿った防災施設の充実が必要である。



導入された小型動力ポンプ

工場等振興奨励補助金

1億3027万円

大津町工場等振興奨励補助金交付要項に基づき、用地取得費の20%（限度額2億円）また、施設整備投下固定資産総額の10%（限度額5千万円）を助成。



建設された南部工業団地の工場

日本アルコール産業(株)肥後大津工場跡地購入

13億4365万円

まちづくり交付金事業を活用し、購入した。

既存事務所を改修し、「子育て支援」「住民検診」のための施設や駐車場、芝生広場として利用される。



委員会現地調査

地域づくり活動支援事業

456万円

地域住民のみならず「自ら考え、自ら実践する」地域づくり活動に対し、経費の一部を補助。

平成21年度で終了するが、地域づくりの促進に役立ってきた。



自ら考え、自ら実践